

あしがら 農の会

通信 11月号

第127号

2012年 11月6日発行

発行

NPO 法人 あしがら農の会

ホームページ

<http://nounokai.com/>

代表 松本 邦裕 090-1735-3748(携帯)

編集 石井 智子 0465-32-1467(TEL/FAX)

bombalurina@savanna.dti.ne.jp

地場 旬 自給

あしがら農の会はあしがら地域に様々な循環を作りたいとの思いから、地場、旬、自給を掲げて、1993年に設立されました。(2003年にNPO法人化)
地域の中の休耕田を借りて自給のための米作りから始まった会は、現在以下のような活動を行っています。

農産物の宅配: 会に賛同する野菜の生産者と、地域で自給の為の野菜の作り手が集まって、無農薬・無化学肥料栽培の野菜宅配を行っています。(その他、米、お茶、果実、卵、鶏肉、豚肉などもあります)

田んぼの会: 現在約100家族以上が、あしがら平野の13カ所で自給用の稲を育てています。

お茶の会: 山に戻ってしまうお茶畑を、市民で手入れできないかと始まりました。5月には参加者約100名が、各自1年分のお茶を摘み取ります。

大豆・味噌の会: 大豆は7月に苗作りから始まり、11月に収穫します。その大豆と、各自が田んぼの会で作っているお米で、1月には麴づくりから味噌作りを行っています。

小麦の会: 月1キロの小麦の自給を目指します。

その他、四季折々の行事を行っています。関心のある方はどなたでも参加できます。

有機の仲間たち・其の十一 小田原市経済部農政課

小田原有機の里づくり協議会

本協議会は、市内を拠点として活動している4団体(農事組合法人小田原産直組合、小田原有機農法研究会、NPO法人あしがら農の会、株式会社報徳農場)を中心に、関連団体等との協力・連携により、有機農業を活用した地域農業を推進することを目的として平成21年2月27日に発足しました。

活動に当たっては、平成21年度より国の有機農業総合支援対策(地域有機農業推進事業)などの補助金を活用し、神奈川県内唯一の有機農業のモデル地区として、次の5つの目的のために様々な事業を実施しています。

- ① 講演会の開催などを通じて有機農業への理解を深め、有機農業参加者を増やす。
- ② 実証圃を設置し、有機農業技術の確立を図る。
- ③ 学校給食での利用や農業まつりでの販売などによる有機農産物の流通を促進する。

る有機農産物の流通を促進する。

- ④ 農業体験や生き物調査などにより消費者へ有機農産物の普及啓発を図る。
- ⑤ 視察研修を実施し、先



タマネギ栽培体験学習(曾我小学校)

進的な取り組みを取り入れる。

貴会には、主に実証圃にて、有機農業技術の確立のため、いろいろな農作物を栽培していただいています。

本協議会は、活動を始めてから4年目になりました。今後も活動を継続していくためには、皆様のご理解とご協力により連携を深めていくことが不可欠です。各事業における皆様のご参加をお待ちしています。

小田原の農業について

小田原は、首都圏にありながら、海、山、川という豊かな自然環境に恵まれた地域です。また、農産物としては、周囲の丘陵地におけるミカンをはじめとした柑橘類、梅やキウイフルーツなどの果樹類、酒匂川流域を中心に栽培されている水稻などがあり、小田原有機の里づくり協議会のメンバーを中心に、それらの農産物全般において有機栽培が行われています。

小田原の農業は、全国的な傾向と同様に、後継者不足による耕作放棄地の増大、また、有害鳥獣による被害の増加が大きな課題となっています。それらの問題を解消するため、昨年10月に県西地域2市7町とJAかながわ西湘などにより、県西営農支援センターがJA総合選果場横(小田原市成田)にオープンしました。

営農支援センターは、農業に関わる様々な問題についてご相談いただける場所であり、小田原市だけでなく県西地域全体の広域的な情報をご提供できるところですので、是非皆様にご活用いただきたいと思います。

小田原市経済部農政課 農林業振興係長 渡邊弘二